

目指す学校像	南高生の誇り10箇条を座右の銘とし、人格の完成を目指し、豊かな情操を養い、探求心旺盛な自主自立の精神に満ちた心身共に健康な民主的社会人の育成を期する。
重点目標	1 主体的に学習できる生徒の育成と進路実績の一層の向上を図る。 2 活力と特色ある教育活動を推進する。 3 地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価（月 日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	進学重視型単位制に移行して5年目を迎えるにあたり、新教育課程を実施する。新教育課程は、年8回の土曜授業と個々のニーズに応じた選択科目を充実させた週34単位が特徴である。 教育課程を通して「進学重視型単位制の充実」「主体的・対話的で深い学びの推進」「新大学入試への対応」「進学実績の向上」をめざし、研修を充実させ授業改善を進めていく。 また、進路実現のための的確な情報提供とICT教育の充実に向け環境を整備する。	授業改善の推進による確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 履修指導の改善 研究授業・教科ごとの授業研修会の実施 進学重視型の授業展開の推進 ICT活用環境の整備 生徒アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 履修の手引きを改訂し、個に合わせたきめ細かい指導を行う。 公開授業を通して、授業改善研修会を年2回以上実施する。 ICT学習室を整備し、学習環境を整備する。 生徒アンケートの授業満足度の比率2/3超。 			
		進路希望実現に向けた計画的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の的確な伝達 進路ガイダンスや模擬試験、英語資格試験への参加の奨励 模試の有効活用の推進 進路意識を引き出す行事の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ICT教室を活用する生徒の拡大。 模擬試験受験者及び分析会参加生徒の増加。 補習数と参加生徒数の増加。 保護者対象や各年次における進路ガイダンスの計画・実施。 			
2	県内公立高校初の人工芝グラウンドが実現した。人工芝の特徴を踏まえ、危機管理対応マニュアルを整理・周知し、より効果的な授業・体育的行事について綿密に企画・計画し、実施・検証していく。 また、本校の特徴ある行事である「3つの感動体験」の更なる充実とともに、授業公開と連動した学校説明会、主権者教育や特別活動の工夫を行い、効率的な教育活動を推進する。	学校行事及び課外活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の円滑な運営 部活動への積極的な参加の働きかけ 指導体制、活動環境の充実 学校行事の効率化及び精選の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な体育活動の研究・企画、人工芝特有の効果的な活用及び事故防止の留意事項をマニュアル化する。 使用規程・事故防止マニュアルを校内に周知する。 地域連携事業に積極的に参加し主体的に学ぶ生徒の増加。 			
		グラウンド地域開放に向けた効果的活用の研究	<ul style="list-style-type: none"> 新たな体育的行事の企画検討、授業改善。 人工芝事故防止策の推進とマニュアルの整理・作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 市教委と連携し、地域へ使用規程や事故対応を周知する。 南高サポーターが増えるように開放事業を工夫し進める。 			
3	グラウンドの地域開放事業、土曜授業公開を推進し、関係諸機関のニーズに耳を傾け、より地域に根差した学校づくりを進める。 また、企画委員会を中心に、校務の可視化・効率化を進める。各業務を組織的に進め、業務の継続性をさらに確保できる組織づくりを進める。	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進 広報活動の活性化 地域、保護者ニーズの集約と迅速な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携事業等の活性化と連携意識の向上、共有。 授業公開＋学校説明会の実施。 H Pを活用した細やかな発信。 メール配信を活用し家庭との連携を強化する。 			
		企画委員会を中心とした効率的な学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 新たな取組実施に対する改善点等の検討。 分掌横断的、将来構想的な協議の積極的な推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化や地域ニーズを的確に把握し、具体的に対応する方策の検討、実施。 組織をスリム化し、業務の効率化・可視化の具体的な方法を検討する。 			

学校関係者評価
実施日 平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等